

2018 年度 日本リトルシニア 第 47 回日本選手権関西連盟中国支部大会



大会要綱

| | |
|---------|--|
| 主 催 | 一般財団法人 日本リトルシニア中学硬式野球協会 関西連盟中国支部 |
| 協 賛 | 株式会社ハークスレイ（ほっかほっか亭中国各店舗） |
| 期 日 | 平成 30 年 5 月 19 日（土）～平成 30 年 6 月 9 日（土） |
| 場 所 | しまなみ球場、コカ・コーラウエストスタジアム、呉市総合 SC 野球場、山口きららドームスタジアム、絆スタジアム、ほか西部・東部各球場 |
| 競 技 方 法 | 関西連盟大会規定を採用する。（一部、大会特別規定を採用） トーナメント戦 ※東西地区分けなし（三位決定戦を行う） |
| 大 会 副 賞 | 【大会出場権】優 勝：日本選手権大会（関東）：1 チーム |
| 開 会 式 | 期：平成 30 年 5 月 19 日（土）：8:30（受付開始 7:00～ 運営会議：7:30～） 於：しまなみ球場 |
| 閉 会 式 | 期：平成 30 年 6 月 9 日（土）：決勝戦終了後（14:00 予定） 於：絆スタジアム（予備日：6/7（日）：専用球場） |
| 参加チーム | 日本リトルシニア関西連盟 中国支部加盟リーグ：19 チーム |

| | |
|---------|---|
| 抽 選 会 | 平成 30 年 4 月 22 日（日）コカ・コーラウエストスタジアム：第 2 会議室 |
| 参 加 費 | 大会規定額を納入（期日までに中国支部の口座に振込） |
| 試 合 球 | ミズノ（シニアリーグ公認球）試合ごとに 4 球 |
| 審 判 員 | ● 一回戦～準々決勝：本部審判員 2 名、父兄審判員 2 名（各チームから 1 名派遣） ※父兄審判員については、審判部が発行する審判カード所持者に限る。 ● 準決勝～決勝戦（三位決定戦）：本部審判員 4 名（各チームからの派遣なし） |
| 審 判 弁 当 | 派遣人数分支給（各チーム：1 日 1 個まで） |
| 参 加 要 件 | 1. 本大会は、日本リトルシニア野球協会が発行する選手・指導者カードの所持者のみ、ベンチ入りを許可する。※仮カードは不可（但し、スコアラー 1 名は除く） 2. ベンチ入りできる選手は 25 名までとし、背番号は 1～25 番までとする。 3. 専用球場を保有するチームは、当該試合の有無に関わらず、本大会の試合会場として協力できること。 4. 本大会に参加する選手（指導者含む）ならびにチーム関係者は、全ての試合においてスポンサー弁当（@600 円）を注文すること。（但し、一部球場を除く） |

競技要項（大会特別規定）



- ベンチは若番が一塁側。ロージンは後攻チーム、ボールボーイは両チーム 2 名とする。（ボールボーイは原則ベンチ入り選手とし、アップシューズを着用）
- 各チーム派遣の審判員は一塁と三塁の塁審を担当する。なお、担当する試合は支部取り決めどおりとする。
- 各球場のグラウンドルールは、試合開始前に各会場の責任審判員により説明を行う。
- 試合は 7 回または 2 時間制とし、5 回をもって試合成立とする。（5 回までは 2 時間超えても試合を行う）なお、試合成立後の延長戦は行わず、即タイブレーク（最大 3 回：1 アウト満塁）を行い、なお同点の場合は最終出場メンバー（18 名）による抽選にて勝敗を決定する。
※第 4 項の詳細は別紙を参照。
- 5 回以降 7 点差および 4 回以降 10 点差をもってコールドゲームとする。（但し決勝戦は除く）
- メンバー交換は前試合 3 回終了後、大会本部が指定する場所にて、事務局長・監督・選手が集合し、所定のメンバー表（5 部）を提出し、担当審判員並びに本部役員立ち会いのもと、ベンチ入りメンバーを照合のうえ、先攻後攻を決定する。
- 試合前のシートノックは 7 分間とし、ノック時のボールボーイは必ずヘルメットを着用する。なお、天候によってはサイドノックに変更する場合もある。（原則、各補助員は登録選手に限る）
- 原則、試合前のアップはフィールド内を使用しないこと。但し、外野フィールドにおいてはアップシューズ着用に関し、アップやキャッチボールを認める。（ノックやトスバッティングは禁止）
- 次試合チームの先発バッテリー 1 組に限り、4 回終了以降、ブルペンに入って投球練習を行うことが出来る。（但し、ブルペン入場は、試合進行を妨げないよう細心の注意を払うこと）
- ブルペン捕手は、スタンディングの場合であっても必ず防具を着用（特にキャッチ面）し、捕手の安全を守る保護選手を 1 名帯同させること。（保護選手も必ずヘルメットを着用すること）

その他の注意事項

- 各チームは、会場到着後、速やかに大会運営本部が指定する受付手続きを行うこと。
- 各チームは、当日の試合が全て終了し、会場を退出する際は、大会運営本部が指定する退場手続きを行い、「次回指示書」を受け取ること。
- 審判員は第 1 試合の試合開始 40 分前までに待機し、第 2 試合以降は、前試合 3 回終了前までに必ず審判控室にて待機する。（審判服は支部指定）
- 各チームの放送係は、第 1 試合の試合開始 40 分前までに必ず名札を付けて待機しておくこと。
- 審判へのお茶出し及び次試合のメンバー交換を促すアナウンスは行わない。
- 試合成績表の記録者は、名札を付け予備球を持って記録室に入室のこと。
- 各チームの応援団はメガホンを叩いての応援を禁止する。（鳴り物応援禁止）